

のらくろ便り

15 1月号

森下文化センター 休館のお知らせ

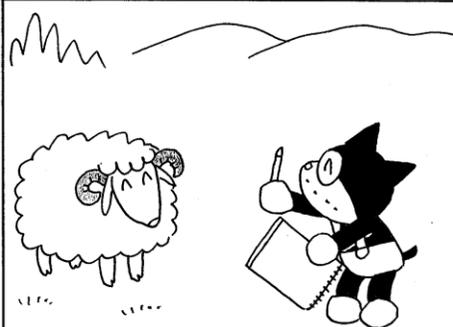
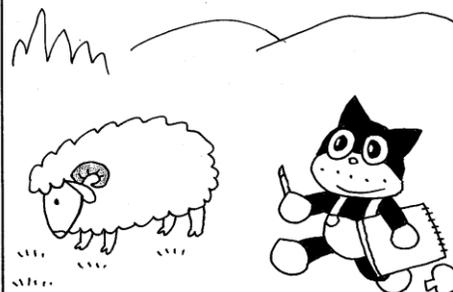
平成27年7月から
平成28年7月末まで
森下文化センターの
改修工事
を行います

大変ご迷惑をおかけいた
します。何卒よろしくお願
いいたします。

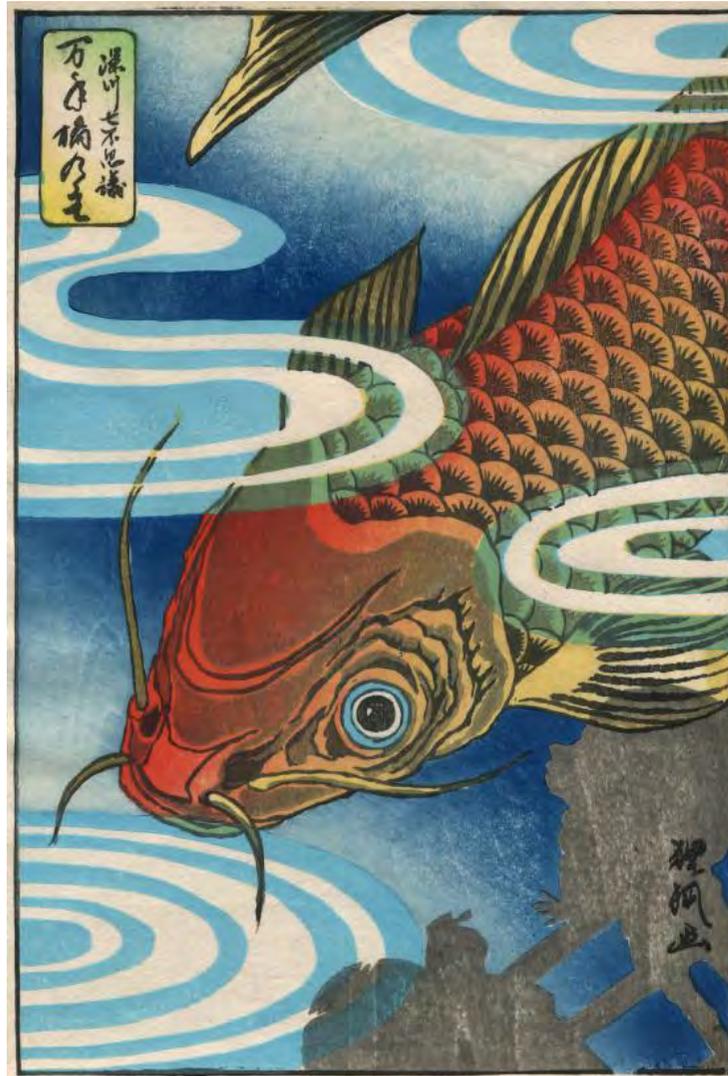


©田河水泡 / 講談社

のらくろちゃん (モデル)山根青鬼



北葛飾狸狐・画 三木淳史・彫り刷り『深川七不思議』浮世絵風木版画より「万年橋の主」



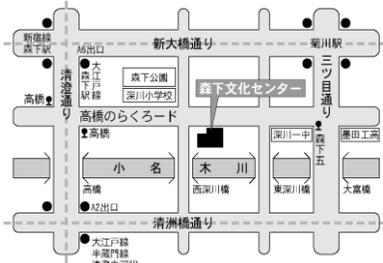
本年もどうぞ
よろしくお願いたします

平成27年1月15日発行



公益財団法人
江東区文化コミュニティ財団
心にうるおい、地域ににぎわい。
Koto City Culture and Community Foundation

江東区森下文化センター 田河水泡・のらくろ館



〒135-0004 東京都江東区森下3-12-17
電話 03-5600-8666
FAX 03-5600-8677
HP <http://www.kcf.or.jp/morishita>
【開館時間】午前9時～午後10時
【休館日】第1・3月曜日(祝日の場合は開館)
年末年始(12/29~1/3)

第10回 のらくろマンガ賞 大賞決定!

応募総数212点の中から下表のとおり、大賞作品が決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。

【作品展示会】開催中～1月16日(金)9:00～21:00

【授賞式】1月11日(日)14:00～ 2階多目的ホール
審査員による作品講評があります。どなたでもご参加いただけます。



部門	賞	作品タイトル	受賞者名	
イラスト	一般	大賞	ぼくののらくろ	松田まさる
	ジュニアA (小学生以下)	大賞	ありがとう!!のらくろ!!	吹野 友璃香
テーマ “みんなののらくろ”	ジュニアB (中学生)	大賞	のらくろはみんなを笑顔にする!	三島萌佳
コマ漫画 テーマ “うれしい”	一般	大賞	二重の喜び	相澤拓
	ジュニア (中学生以下)	大賞 区長特別賞	私のいろんなうれしいこと	高橋結希
ストーリー	一般	大賞	晴れた日には、傘をさして	袖山 百年
	ジュニア (中学生以下)	大賞	福袋戦争	長澤太一
10回記念 特別賞	ベストオブベスト★	第1回 コマ部門 大賞	プレゼント	前川達洋
	皆勤賞	第1回～第10回までの 全ての回に作品を応募された方		13名

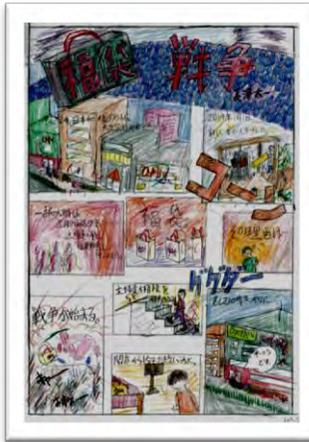
★歴代大賞受賞作品中のベスト1



「私のいろんなうれしいこと」
高橋結希



「のらくろはみんなを
笑顔にする!」
三島萌佳



「福袋戦争」
長澤太一



「ありがとう!!のらくろ!!」
吹野友璃香

田河水泡の母校

江東区立 臨海小学校



幼少期から青年期を江東区で過ごした田河水泡は、明治44年に市立臨海尋常小学校(現・臨海小学校)を卒業しました。

明治38年に開校した臨海小学校(門前仲町1丁目)は、今年で109周年を迎え、11月29日(土)、開校記念集會が行われました。司会・進行は代表委員の児童。この日のために準備を重ねてきました。実川栄一校長先生や同窓会長の鈴木俊朗さん・卒業生でもある利根川大樹PTA会長のお話から、昔の学校や子どもたちの様子を知りました。続く3択形式の「臨海小クイズ」では、おもしろい選択肢の数々に大いに盛り上がりました。もちろん大先輩、田河水泡の問題もあり・・・子どもたちは、楽しく学校の歴史を学びました。



「田河水泡さんが描くマンガのキャラクターは?」
①ふなっしー②のらくろ
③ピカチュウ
もちろんみんな大正解!



突然ののらくろが登場! 楽しい寸劇が披露されました。



昭和5年に架けられた、現在の萬年橋



ケルンの眺め

一度覗いてみて下さい。

「ケルンの眺め」と称されています。さて、『深川七不忠議』に「万年橋の主」があります。この橋の付近には大きな鯉(主)が棲んでいるそうなので、一度覗いてみて下さい。

また、赤穂浪士は討ち入り後に泉岳寺へ向かう途中、登城する大名に会わないよう両国橋を避け、萬年橋を通過して永代橋を目指したとされます。

江戸期を通じて四回改築されたとされていますが、現在の橋は、関東大震災後の復興計画によって架け替えられたものです。

萬年橋のたもとから隅田川下流に清洲橋が見えます。清洲橋はドイツ・ケルンにあった吊橋をモデルにした橋で、「震災復興の華」と呼ばれ、優美なデザインで知られています。ここ萬年橋からの眺めが最も美しいといわれています。

森下界隈端から橋まで
〜萬年橋のおはなし〜

萬年橋が架けられた年代は不明ですが、延宝八(一六六〇)年の地図には「元番所のはし」と記載があります。江戸時代初期、橋のすぐ北側に船番所が置かれていましたが、明暦の大火後に中川口へ移されたため、この辺りが「元番所」と呼ばれていたことに由来します。「萬年橋」とは、近代以前の橋洪水などでたびたび架け替えられていたため、「万年」に渡って長持ちするよつことの願いが込められた慶賀名で、日本各地で採用されています。この橋が「萬年橋」と呼ばれるようになった時期は不明です。

この橋は高橋と同じく、船の航行を妨げないように橋脚を高くした太鼓橋で、葛飾北斎は富嶽三十六景の中で、歌川広重は名所江戸百景の中で題材として取り上げています。

また、赤穂浪士は討ち入り後に泉岳寺へ向かう途中、登城する大名に会わないよう両国橋を避け、萬年橋を通過して永代橋を目指したとされます。

江戸期を通じて四回改築されたとされていますが、現在の橋は、関東大震災後の復興計画によって架け替えられたものです。

萬年橋のたもとから隅田川下流に清洲橋が見えます。清洲橋はドイツ・ケルンにあった吊橋をモデルにした橋で、「震災復興の華」と呼ばれ、優美なデザインで知られています。ここ萬年橋からの眺めが最も美しいといわれています。